

# 読書



インフラコンサルタント物語 土木技術者として生きた50年

日刊建設通信新聞社・刊

## オリエンタルコンサルタンツ相談役 清野 茂次さん

# 歴史つづり将来を示す



建設コンサルタントの草創期から携わり、自身の足跡がそのまま業界の歴史に重なる。たんなる記録ではなく、生き様を文字に残して伝えるという思いが本書は溢れる。

「最初は、できるだけ客観的にするため、第三者の『彼』に置き換えて書いた。しかし、『彼』の目を通して語ると読者に分かりにくさを生むため、一人称に変えた。

「できれば一般の人にも読んでもらいたい。コンサルタントは、重要な仕事をしているのに、世の中ではきつんと評価されていないから」

建設コンサルは、戦後の復興を軌

を二にして誕生したが、長く経歴者の手伝いという愚子役だったため、建築の設計者と違って世に存在が知られていない。

「土木の設計は、会社名でも出ない。社名と管理技術者くらいは表に出さないとけない。これが変わらな限り、土木は社会に認められない」と強調する。

業界団体の主要なポストも歴任しているため、裏話や秘話も数多く聞いているが、自身が直接関係した日本技術士会会長就任のいきさつは、ほかは記述していない。実は当初「裏話も書いていたが、暴露的にな

るのもめめた。発注者に対してもきつい言葉で書いていたが削除した。書き直すか、または影響が大きいと配慮したからだ。

オリエンタルコンクリート(現オリエンタル白石)に入社しながら、出向先でコンサルの道を選んだことについては、「本を読んで分かったわけではなく、仕事をしている中で、これからはコンサルが重要になるや肌で感じた。新しい業種なので、自分で開拓でき」と理由を挙げた。

第2章に収録した社長時の年頭のことばは、通常の年頭訓辞とは別のバージョンだ。「いま何が起きていて、これからどうすべきか、コンサルはもうあるべきかなを年ごとにか書いた。社員向けのため、これが不十分、あれが足りないなど叱咤(じつた)激励が多くなっているが、その時と時の時代背景を踏まえて、業界の潮流を眺め取ることで、今後の方向を導く一助となる。

タイトルのインフラコンサルタントは、建設という狭いイメージを打ち破るため、「この本のために考え



インフラコンサルタント物語  
土木技術者として生きた50年  
清野 茂次

◆あらすじ  
建設コンサルタントは、一般の人になじみが薄いため、職業としての生い立ちや仕事内容から説き起こし、社長として16年の間に取り組んだこと、土木学会や建設コンサルタンツ協会、会長を務めた日本技術士会などの活動を通じて得たことを、読みやすくまとめている。

最終章はこれまでの人生を振り返り、もっとも悲しかった出来事であるカンボジアでの社員の死亡事故について、遺族やマスコミへの対応など当時の状況を生々しく語る一方、念願だったフランス留学は楽しい思い出としてつづっている。

(1,400円)

### 最終章でカンボジアの事故語る

## 清野元会長が「自伝」発刊



清野茂次・元日本技術士会会長（オリエタルコンサルタンツ相談役名誉会長）が、「誠心誠意」をモットーに、土木技術者、建設系コンサルタントとして懸命に生きた50年を赤裸々につづった「インフラコンサルタント物語」を日刊建設通信新聞社から発刊した。四六判297ページで、本体価格は1400円。

建  
コ  
ン  
50  
年  
の  
生  
き  
ざ  
ら  
ま

03～05年に日本技術士会の第16代会長を務めた清野氏は、04年6月に「技術士ビジョン21」、その翌年には「行動指針」もとりまとめた。「科学技術創造立国」実現の中核者としての役割を担う21世紀の技術士像を明確に打ち出したものだが、その目標、実行計画は「まだまだ途上であり、進行がやや遅れ気味であるようにも感じている」と、現状に不満を抱き、行く末を案じているようすだ。

「特に、専門分野別の部門は、技術士法の発足以来、ほとんど変わっていない。生産者の立場だけでなく、消費者の立場にも配慮した部門の再検討が至急必要である」と持論を展開。「早期にしかるべき技術者が技術士の資格を持ち、10万～20万人の技術士集団になって、社会に認知してもらい、社会に貢献する技術士となる」ことを強く願っている。

## インフラコンサルタント物語 —土木技術者として生きた50年—

### 発刊のお知らせ

日刊建設通信新聞社は『インフラコンサルタント物語 土木技術者として生きた50年』を発刊しました。わが国の建設コンサルタントは戦後生まれました。当初、建設工事の設計が主な業務分野でしたが、近年はインフラ全般にわたるさまざまな仕事を担い、「インフラコンサルタント」というべき職業に変わりました。

本書は、著者が1人の土木技術者として、建設コンサルタント会社の経営者として歩んだ50年をまとめたものです。同時に、国土づくりの歴史、インフラコンサルタントの業務内容や使命、未来の技術者へのメッセージが盛り込まれています。

▷清野茂次(オリエンタルコンサルタンツ相談役)著  
▷四六判/300頁

▷I S B N 978-4-902611-27-4

▷定価1,400円(税別)

お買い求めは全国の主要書店、政府刊行物センターのほか、当社本社、支社、支局まで。

